

公務災害防止事業の推進

▶ 「安全管理セミナー」を実施して ◀

宇陀市総務部危機管理課

1 はじめに

宇陀市は、奈良県の北東部に位置し、近畿日本鉄道大阪線によって京都・大阪方面や名古屋・伊勢方面と結ばれており、また、大阪方面から本市への自動車によるアクセスは約1時間で結ばれる距離にあります。

基幹産業である農林業をはじめ、吉野本葛など伝統的な食品の製造や毛皮革産業など特徴ある地場産業のまちです。

また、古くは神武天皇建国の記紀伝説の舞台となっているとともに、女人高野室生寺をはじめ、旧城下町（宇陀松山城）や伊勢本街道の宿場町の風情を今に伝える歴史街道のまち並みなど、数多くの歴史文化資源を有しています。

さらに、自然環境にも恵まれ、清流と緑豊かな美しい自然の中で、桜、つつじ、石楠花、ダリアや紅葉など、四季を通じて訪れる人に憩いとやすらぎを与えてくれる、面積247.5km²、総人口約31,180人の暮らしに魅力あるまちです。

2 宇陀市消防団の概要

当市は、平成18年1月1日に大宇陀町、菟田野町、榛原町及び室生村の合併により市制を施行し、来年には10周年の節目を迎えようとしております。

この町村合併に伴い、旧の各消防団が統合し宇陀市消防団が誕生しました。

現在、16分団、60部、1,043名の団員で構成さ



主催地 宇陀市消防団 田尻茂一団長 あいさつ

れており、平均年齢は39.9歳となります。今後、高齢化の進展が懸念されることから、安全管理の徹底を推進に努めております。特に個人装備の支給については、充実を図っております。

3 消防団安全管理セミナー開催の経緯

現場出場中及び活動中の事故は、消防団員だという強い使命感があり、早く現場に到着したい、早く警戒・防御活動しなければとの焦りがあり、事故やけがを起す事例もあります。不幸にして既往症が発症したり、けがを伴ったりすることがあり、大切な団員を失う悲しいことも起こります。

現場活動以外にも、ポンプ操法訓練、防災訓練、若しくは警防訓練など安全管理及び健康管理の徹底が求められますが、過去からの因循さがそれを抑制しておりました。消防団幹部は勿

論のこと各団員のみなさんには、本当にタイムリーなセミナーであり、実効のある内容を提供いただいた事は幸いでした。



指差唱和 スローガン 唱和リーダー 富田 副団長

4 消防団安全管理セミナーの様子

宇陀市榛原総合センターにおいて、平成27年奈良県都市消防団長会ブロック別合同訓練安全管理セミナーを、元京都市消防学校長で消防基金S-KYT指導員の森方功先生をお招きして講演を開催することができましたことに対し、まずは、感謝とお礼を申し上げます。

さて、当該安全管理セミナーにおいて、ブロック（橿原市消防団、桜井市消防団及び当市消防団）3消防団、109名の参加がありました。

消防団員の事故は、「いつでもどこでも起こり得る」事故事例やヒヤリハットでの事故防止での注意喚起、安全は指差し確認から始めようなど身近な話題から、興味を引き付けるご講義まで、いつの間にか森方先生の話術にはまり、会場は一体となって学習できたように感じました。

特にS-KYTの危険予知訓練のご講義では、皆さん身を乗り出し、目が輝いていたよう

に思います。講演後、この訓練を具現化するため、複数の団員の皆さまが話し合いをしていたのも、印象的でした。

ご講義終了後のアンケートでは、安全管理の重要性の再認識の声、安全施策の改善の推進の声、思い込みからの脱却の声など実のある安全管理セミナーであったことが伺えました。

消防団員を守ることが大切なまち・人を守ることです。地域防災力の要となる大切な消防団員を「安全哲学」を持ち育成し、地域防災力を高めたいと思いました。

5 今後の取組

前述のS-KYTの危険予知訓練は、現在、訓練内容及び実施方法を検討中であり、早い段階で実施したいと考えております。

また、幹部研修の中に指揮要領と併せ、安全管理についての研修を組み入れ、今回のセミナーを活かしたいと考えております。

終わりに、今回の消防団安全管理セミナーを受講し、未受講団員へのフィードバックは勿論のこと、各種訓練等の機会を捉え、公務災害防止を推進していくよう努めてまいります。



指差唱和